

「四国地区のコンクリート構造物の非破壊検査・調査に関する研究委員会」活動報告

委員長 橋本親典（徳島大学）

幹事長 渡辺 健（徳島大学）

上記委員会を平成14年7月に発足し、2年間に6回の委員会および2回の現場調査を実施した。以下に、平成14～15年の活動状況を簡単に記す。現在の委員会メンバーは、参考資料1に示す。

1) 委員会開催状況

第1回委員会

1. 日 時：平成14年9月20日（金） 14:00～17:00

2. 場 所：徳島大学工学部 共通講義棟 K304 教室

3. 出席者：13名

第2回委員会

1. 日 時：平成14年12月20日（金） 14:00～17:00

2. 場 所：徳島大学工学部 共通講義棟 K205 教室

3. 出席者：17名

第3回委員会

1. 日 時：平成15年4月18日（金） 14:00～17:00

2. 場 所：徳島大学工学部 工業会館 セミナー室

3. 出席者：19名

第4回委員会

1. 日 時：平成15年8月29日（金） 13:00～17:15

2. 場 所：四国総合研究所 大会議室

3. 出席者：15名

第5回委員会

1. 日 時：平成15年12月5日（金） 14:00～17:00

2. 場 所：徳島大学工学部工業会館 2F 小セミナー室

3. 出席者：9名

第6回委員会

1. 日 時：平成16年5月18日（火） 14:00～17:00

2. 場 所：徳島大学工学部 建設工学科棟（A棟）5F 中セミナー室

3. 出席者：14名

2) 現地調査

第1回 日 時：平成15年5月13日

場 所：徳島県桑野川石塚樋門

参加者：19名

第2回 日 時：平成15年10月30日

場 所：徳島県那賀郡鷺敷町百合の細淵潜水橋

参加者：23名

今年度の活動予定

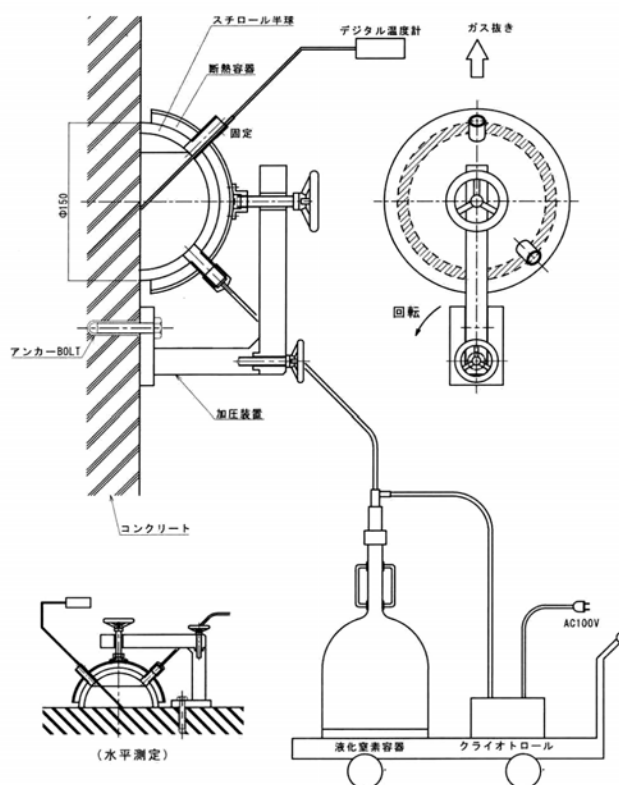
1. 委員会を4回程度開催する。
2. 現地調査を2回程度実施する。候補調査としては、徳島大学工学部旧土木棟および徳島市内の感潮河川のコンクリート護岸。
3. 本研究委員会からの新技術の提案として、以下の試験方法を開発する。
従来のかぶりコンクリートの劣化度診断は、ひび割れが発生するまではテストハンマーによる表面硬度あるいはコア供試体による中性化試験しかなかった。実構造物のかぶり表面にテストハンマー以外の外力を加える方法がなかったためである。本研究委員会では、水分が含まれる物質は液化窒素ガスによって急速に凍結するという性質を利用し、コンクリート表面の微細ひび割れの進行状況を液化窒素ガスによって凍結・融解させ、微細ひび割れの発生状況や凍結融解による体積変化に対する抵抗性を評価するという斬新で画期的な簡易急速凍結融解によるコンクリート表面の劣化度診断装置（参考資料2参照）を検討中である。来年度までに本委員会のオリジナルな試験方法として提案する予定である。
4. 委員会報告を含む講習会を平成17年度に開催する。

【 参考資料 1 】

研究委員会名簿

	氏名	所属
1	委員長 橋本親典	徳島大学工学部建設工学科
2	委員兼幹事 渡辺 健	徳島大学工学部建設工学科
3	委員 石井光裕	四国電力(株)土木建築部
4	委員 横井 克則	高知工業高等専門学校 建設システム工学科
5	委員 三浦 茂由	徳島県県土整備部建設管理課
6	委員 一宮 桂一郎	徳島県生コンクリート工業組合
7	委員 川人 潤一	徳島県生コンクリート工業組合
8	委員 近江 正明	国土交通省 四国技術事務所 調査試験課
9	委員 元木 真二	国土交通省 四国技術事務所 機械課
10	委員 後藤 年芳	(株)中研コンサルタント 関西支店取締役
11	委員 太田 信哉	復建調査設計株式会社 高松支社 設計課
12	委員 吉川 敏明	株式会社 建設材料試験所
13	委員 横田 優	株式会社 四国総合研究所 土木技術部
14	委員 松山 哲也	日本興業株式会社 開発部
15	委員 三浦 浩之	ショーボンド建設(株) 四国支店 工事技術課
16	委員 三浦 正純	(株)四電技術コンサルタント
17	委員 坂本禮大	愛媛県 建設研究所 土木部技術企画室
18	委員 片岡 裕明	高知県土木部 土木企画課
19	委員 小野 英二	香川県土木部 土木技術企画課
20	委員 諸隈 成幸	住重試験検査(株)
21	委員 藤川 英一	(株)カンケン 生産部試験係

【 参考資料 2 】



コンクリート表面の劣化度診断装置の試作機